



修学・克己・敬愛

広島市立安佐北中学校・高等学校

TEL 082-818-0656・0600 FAX 082-818-5140
web <http://www.asakita-h.edu.city.hiroshima.jp>

平成 24 年度
第 8 号
1 月 18 日
(睦 月)
(JANUARY)

『子曰、君子成人之美、不成人之惡。小人反是。』 (論語)

子曰く、君子は人の美を成す、人の惡を成さず。小人(しょうじん)は是(これ)に反す。

人格者は他人の善事や成功を喜んで、それが成就することを願い、他人が失敗したり悪評を受けたりするのを心配して、援助したり弁解したりする。取るに足らない人物はこれと反対のことをする。

広島市立広島中等教育学校

平成 26 年、安佐北中・高等学校が、中等教育学校に生まれ変わります*。(下図参照)

平成 15 年、安佐北中学校が併設されて以来、本校は併設型中高一貫教育校として生徒一人ひとりの個性と創造性を最大限に伸長させることを重視した、継続的、発展的な教育を進めてきました。

こうした教育の成果等を踏まえ、中高一貫教育のより一層の充実を図るため、従前の併設型中学校・高等学校から、一つの学校として、6 年間一貫した教育計画に基づく特色ある教育活動を継続的に行うことができる中等教育学校へ移行します。

- 1 設置場所
広島市立安佐北中・高等学校
広島市安佐北区三入東一丁目 1 4 番 1 号
- 2 校名
広島市立広島中等教育学校
- 3 開校時期
平成 26 年 4 月
- 4 規模

1 学年学級数	全体学級数	生徒数
3 学級	18 学級	720 名

※平成 26 年度より、学年進行により 1 学年 120 名 (3 学級) を募集します。



鶯宿梅*

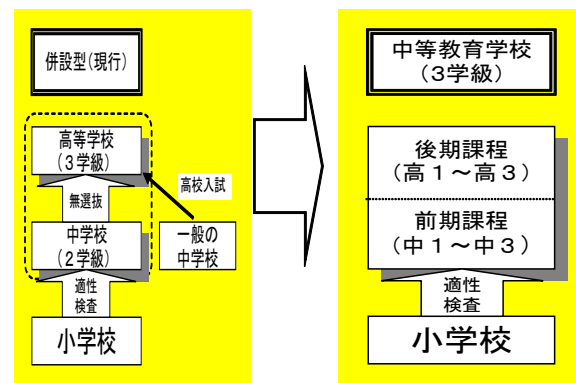
※安佐北高等学校入学者選抜は、平成 26 年度入学生が 4 年生 (後期課程) に進級する前の平成 28 年度選抜まで募集を行います。

5 教育内容

「高い志を持ち、品格を備えたグローバル人材」の育成を目指して、6 年間を見通した教育課程を編成し、

- ①知識基盤社会に生きる知的探究能力
- ②異なる言語を通じて関係を構築するコミュニケーション力
- ③伝統と文化を継承する日本人としてのアイデンティティ
- ④多様な考え方を調整し集団をまとめるリーダーシップ

などの力を育みます。



*校名等については、教育委員会議や条例改正等の諸手続を経て正式に決定されます。

◎ ひろしま学 ～可部のまち探検～

「可部のまちをもっと元気に!」をスローガンに地域社会に目を向け、地域の人と関わりあう中で、自ら進んで社会に参画しようとする意識を育てることを目的に、12月12日(水)1年生が可部のまち探検に行きました。



班ごとに見学をしたり、説明を聞いたり、インタビューをしたりして、テーマの学習に迫っていきました。

普段は目にすることができない場所や物を見ることができたり、お店の方の半生をじっくりと聞かせていただいたりと、貴重な体験をすることができたようです。

ここからはちょっと私の感想を。私は4班に同行しました。改札口では自動改札機カバーを開いて中を見せいただき、「おお!超ハイテク!」と感動し、可部線全体の管理をする重要な場所である駅務室の中では、緑の窓口での切符の発行を見学させてもらって、駅員の方々は本当に丁寧に対応してくださいました。



(1年2組学級通信より抜粋)

お忙しいところを親切に対応していただきました可部のまちの



- ・祇園神社 様
- ・旭鳳酒造株式会社 様
- ・ウイングかべ (NPO 法人) 可笑屋 様
- ・久保田酒造株式会社 様
- ・株式会社入江呉服店 様
- ・安佐北区役所安佐北区総合福祉センター 様
- ・辻村書店 様
- ・西村醤油本店 様
- ・シゲタ写真館 様
- ・JR西日本 可部駅 様
- ・かあちゃん 様
- ・有限会社安国ベーカリー 様

本当にお世話になりました。ありがとうございました。



◎ 第1学年PTC活動 12月15日(土)

12月15日(土)のPTCは、カレーを作って野外活動のDVDを見て、バレーボールをして、カレーを食べる、という盛りだくさんのものでしたが、無事、楽しく終えることができました。学年委員さんをはじめ、保護者の皆様、ありがとうございました。



(1年1組学級通信より抜粋)

《生徒の感想》

- ・私はバレーはグダグダでしたが、隣のコートで父が活躍していたらしく、いろいろな人が教えてくれてうれしかったです。
- ・ソフトバレーだったので、サーブがぐちゃっとなってびっくりしました。自分たちで作ったというか、切ったカレーは、めちゃくちゃおいしかったです。



◎ 第25回広島市立高等学校総合文化祭

広島市立高等学校(基町・舟入・市商・市工・大手商・安佐北中高・沼田・美鈴が丘)、広島特別支援学校の9校の文化系クラブが一堂に会し、今年度は広島市青少年センターを会場として、1月9日から13日の5日間、文化の祭典が繰り広げられました。

本校からは、展示部門に美術陶芸部、華道部・情報科学部・書道部が出品しました。茶道部は会場ホールで御手前を披露しました。ステージ部門では演劇部の中1、中2の生徒が、高校生ばかりの中で高校生に引けをとらない熱演ぶりでした。吹奏楽部も演劇部同様、中学生が素晴らしい演奏を聴かせてくれました。放送部は学校紹介ビデオで安佐北を紹介してくれました。閉会式最後に恒例の会場全員による「ベリーブ」大合唱で幕を閉じました。

*「鶯宿梅」

鶯の宿る梅の意で、紀内侍(きのないし)の家にあった梅の名。村上天皇のとき、清涼殿の前の梅が枯れたため、西京のある家から掘り取らせたが、木の枝に「勅なればいともかしこし鶯の宿はと問はばいかが答へん」という歌が結び付あった。天皇はその家の主が紀貫之の娘、紀内侍であったことを知り、深く感じ心残りなことだと思った、という故事による。

(了)